

事務事業名	農業総務関係費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	02	細目	002	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 49 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	各協議会への負担金等、農業者や農業関係団体等への各種事業支援を行う。				
対象	3. 団体	神奈川県農政事務協議会、さがみ都市農業保全対策協議会、宮原自治会、藤沢市農業再生協議会			4 団体
根拠法令等	その他(要綱等) 経営所得安定対策等推進事業費補助金交付要綱、藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	1 報酬の支払い 藤沢市都市農業振興基本計画策定協議会 2 防災協力農地の確保 防災協力農地看板撤去1カ所 3 生産者の栽培技術向上及び地元農産物の育成・普及 果樹品評会 2021年8月17日 4 湘南藤沢地方卸売市場の経営分析業務委託の実施 5 負担金等支払い (1)さがみ都市農業保全対策協議会分担金 (2)宮原地域活性化拠点施設運営費補助				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)
	1,162 千円	費目	支出済額(千円)	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度
	1,162 千円	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※ 0.60人工
		分担金・負担金		短時間勤務職員(再任用・任期) 0.00人工
		使用料・手数料		合計 0.60人工
		国庫支出金		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く
		県支出金		会計年度任用職員(配置数) 0.00人
		その他()		
		一般財源	1,162 千円	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
		行政費用 A	5,856	6,104	19,190	6,827			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	5,910	6,100	19,191	6,525			
		事業費(支出済額)	1,091	1,240	14,992	1,162			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,199	5,363			
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	3,928	5,112			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	235	289	271	251			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	-1	302			
①減価償却費	0	0	0	0					
②退職給与引当金繰入額	-54	4	-1	302					
③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		13.64	429,317	14.10	433,060	44.10	435,121	15.55	438,968
成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位				
	指標名	実績	単位	実績	単位				
上記指標名の設定ができない理由		農業総務関係費は報酬や負担金等の支払いを主とする経費であるため、指標の設定が困難である。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	地産地消推進事業費										担当	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	02	細目	003	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3432

1. 事業概要

事業開始年度	平成 22 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	藤沢産農水産物・食品の市内流通・利用促進を図り、地産地消を推進することにより市内農水産業の持続的な発展及び健康で豊かな市民生活の実現を図る。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	条例(市) 藤沢市地産地消の推進に関する条例				
事業実施内容	1. 地産地消推進計画の改定並びに同計画に基づく取組内容や事業進捗の審議等のため、藤沢市地産地消推進協議会を年5回開催した。また、市民の地産地消に対する意識や購買動向等を把握するため、アンケート調査を行った。 2. 地産地消の推進を図るため、ホームページを再構築するとともにSNS等を活用して、藤沢産農水産物や地産地消イベント・講座等の各種情報を市民へ提供した。 3. 地産地消及び藤沢産農水産物の普及促進を図るため、藤沢産利用推進店やおいしい藤沢産ホームページのチラシを作成し、市内各所に配架等を行った。 4. 藤沢産農水産物の利用促進、市内農業への理解を深めるため、地産地消講座を開催した。 5. 地産地消推進イベント「みなと春マルシェ」の開催、藤沢産利用推進店PR用「食歩きマップ」や藤沢産ロゴマークシールの作成等、地産地消推進事業を展開している実行委員会へ負担金を支出した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 5,744 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		報酬	557 千円	地産地消推進協議会委員報酬
		需用費	458 千円	地産地消推進計画冊子印刷製本費
財源内訳	R3年度 支出済額 5,744 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	5,744 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	2.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	2.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	支出	行政費用 A	27,829	28,144	25,538	28,986
		(1)現金を伴う支出 (千円)	29,357	28,122	25,548	28,984
		事業費(支出済額)	4,303	2,853	3,715	5,744
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	25,054	25,269	21,833	23,240
		①常時勤務職員等の給与等	23,834	23,767	20,426	22,153
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
		③退職金相当額	1,220	1,502	1,407	1,086
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-1,528	22	-10	3
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-1,528	22	-10	3
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		64.82 429,317	64.99 433,060	58.69 435,121	66.03 438,968	
成果実績	指標名	目標	150	148	161	161
		実績	143	112	126	118
数値で表せない効果		イベント・品評会などの消費者との交流の場を通じて生産者が意欲を持って農水産業に従事することができている。また、家庭・飲食店・学校・保育園などで、藤沢産農水産物の利用促進を図ることにより地元の愛着心を育んでいる。				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容							
評価	<table border="1"> <tr> <td>必要性</td> <td>藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #cccccc;"></td> </tr> </table>	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高			
	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高				
	<table border="1"> <tr> <td>有効性</td> <td>事務事業の実施手法の有効性は高いか</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td colspan="3">新型コロナウイルスの感染拡大により、以前実施していた飲食を伴うイベントの実施が困難となっていることから、地産地消の普及啓発に努めるため、新しい生活様式における効果的なイベント・講座の実施方法を検討する必要がある。</td> </tr> </table>	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	中	新型コロナウイルスの感染拡大により、以前実施していた飲食を伴うイベントの実施が困難となっていることから、地産地消の普及啓発に努めるため、新しい生活様式における効果的なイベント・講座の実施方法を検討する必要がある。		
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	中				
	新型コロナウイルスの感染拡大により、以前実施していた飲食を伴うイベントの実施が困難となっていることから、地産地消の普及啓発に努めるため、新しい生活様式における効果的なイベント・講座の実施方法を検討する必要がある。						
<table border="1"> <tr> <td>効率性</td> <td>事務事業の実施にあたり、効率性は高いか</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #cccccc;"></td> </tr> </table>	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高				
効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高					
<table border="1"> <tr> <td>公平性</td> <td>事務事業の公平性は高いか</td> <td>中</td> </tr> <tr> <td colspan="3">地産地消講座については、定員を大幅に上回る応募があったため、地産地消を学ぶ機会を多くの市民へ提供するため、令和4年度は講座実施回数を増やすこととした。</td> </tr> </table>	公平性	事務事業の公平性は高いか	中	地産地消講座については、定員を大幅に上回る応募があったため、地産地消を学ぶ機会を多くの市民へ提供するため、令和4年度は講座実施回数を増やすこととした。			
公平性	事務事業の公平性は高いか	中					
地産地消講座については、定員を大幅に上回る応募があったため、地産地消を学ぶ機会を多くの市民へ提供するため、令和4年度は講座実施回数を増やすこととした。							
<table border="1"> <tr> <td>その他</td> <td>上記評価の視点以外に、特記すべき内容</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #cccccc;"></td> </tr> </table>	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無				
その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無					
事業の方向性	一部見直し						
今後の方針	2022年3月に策定した「第5期 藤沢市地産地消推進計画」に基づき、「藤沢ブランドの創出」「藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化」「地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化」に重点的に取り組むこととする。						

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	環境保全型農業推進事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	02	細目	003	説明	02	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	環境への負荷を極力抑えた農業の推進を図るため、農業者団体による環境保全型農業への取組に対し支援する。				
対象	3. 団体	さがみ農業協同組合藤沢市露地野菜部、オーガニック六会、ふじさわオーガニック			3 団体
根拠法令等	法律等	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律、持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律及び神奈川県都市農業推進条例			
事業実施内容	・土壌病害菌防除農薬導入事業 1団体(計11戸) ・環境保全型農業直接支払交付金 2団体(計8戸)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	1,139 千円		事業費節別内訳	
		費目	支出済額 (千円)	主な内容	
		負担金補助及び交付金	1,139 千円	土壌病害菌防除農薬導入事業、環境保全型農業直接支払交付金	
財源内訳	R3年度 支出済額	1,139 千円		事業費節別財源内訳	
		費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
		県支出金	688 千円		
	その他 ()				
	一般財源	451 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.40人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.40人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
コスト	支出	行政費用 A	4,834	4,518	3,998	4,715					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	4,877	4,515	3,999	4,714					
		事業費(支出済額)	1,022	628	641	1,139					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	3,855	3,887	3,358	3,575					
		①常時勤務職員等の給与等	3,667	3,656	3,142	3,408					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	188	231	216	167					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-43	3	-1	0					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-43	3	-1	0					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他 ()	0	0	0	0					
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		11.26 429,317	10.43 433,060	9.19 435,121	10.74 438,968				
成果実績	指標名	環境保全型農業直接支払交付金取組面積	目標	1,025	単位 a	649	単位 a	675	単位 a	801	単位 a
			実績	540	単位 a	633	単位 a	644	単位 a	764	単位 a
備考		目標は年度当初の計画面積、実績は取組実績面積を記載。									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	水田保全事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	02	細目	003	説明	03	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	水田の持つ生物多様性の確保や、水源のかん養、治水などの多様な機能の保全・拡大を図るため、水稲生産を行う有機農業者及び「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」第4条第1項の規定に基づき神奈川県認定を受けたエコファーマーに対して奨励金を交付する。(50円/㎡以内)				
対象	1. 個人			市内在住で市内の水田を耕作する有機農業者及びエコファーマー	118 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	平成26年度から環境保全型水田耕作者(有機農業者及びエコファーマー)のみを対象とした。令和3年度については水田を耕作する有機農業者及びエコファーマー118人に対し奨励金を交付した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		主な内容	
	24,692 千円	費目	支出済額 (千円)		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	24,692 千円	費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			令和3年度
		使用料・手数料			常時勤務職員※
		国庫支出金			短時間勤務職員(再任用・任期)
		県支出金			合計
	その他 (環境基金繰入金)	24,692 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
	一般財源		会計年度任用職員(配置数)		
			0.00人		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	34,337	34,582	27,956	33,631					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	34,445	34,573	27,960	33,630					
		事業費(支出済額)	24,809	24,854	19,563	24,692					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	9,636	9,719	8,397	8,938					
		①常時勤務職員等の給与等	9,167	9,141	7,856	8,521					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	469	578	541	418					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-108	9	-4	1					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-108	9	-4	1					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他 ()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	79.98	429,317	79.85	433,060	64.25	435,121	76.61	438,968			
成果実績	指標名	補助対象面積	目標	600,000	単位	600,000	単位	600,000	単位	600,000	単位
			実績	518,106	単位	530,003	単位	516,450	単位	526,467	単位
備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	農用地利用対策費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3434

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 48 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	義務的自治事務
事業概要	実効性のある藤沢農業振興地域整備計画の達成と農業経営基盤強化促進事業の推進、及び農用地における鳥獣被害の低減を図る。				
対象	1. 個人	市民	438,968 人		
根拠法令等	法律等 農業振興地域の整備に関する法律、農業経営基盤強化促進法、藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 農用地証明の発行(19件:121筆) 農業経営改善計画の認定(24件) 農用地利用集積計画の作成・制定(153件) 農業被害における鳥獣処分への補助(30件) 				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		389 千円	主な内容			
		費目	支出済額 (千円)					
		需用費	164 千円		消耗品、印刷製本費			
		負担金補助及び交付金	225 千円		鳥獣保護管理対策事業費補助金			
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		389 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)			
		費目	支出済額 (千円)					
		分担金・負担金					令和3年度	
		使用料・手数料	24 千円				常時勤務職員※	1.00人工
		国庫支出金					短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
		県支出金	113 千円				合計	1.00人工
	その他 ()			※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
	一般財源		252 千円		会計年度任用職員(配置数)	0.00人		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	7,963	8,103	9,714	9,932					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	8,049	8,096	9,717	9,327					
		事業費(支出済額)	340	321	2,999	389					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	7,709	7,775	6,718	8,938					
		①常時勤務職員等の給与等	7,334	7,313	6,285	8,521					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	375	462	433	418					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-86	7	-3	604					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-86	7	-3	604					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他 ()	0	0	0	0							
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		18.55	429,317	18.71	433,060	22.32	435,121	22.63	438,968		
成果実績	指標名	農用地区域面積	目標	588	単位	588	単位	588	単位	588	単位
			実績	588	単位	588	単位	588	単位	588	単位
備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	農業制度資金利子補助事業費										担当	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	03	細目	002	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 36 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	神奈川県信用農業協同組合連合会、日本政策金融公庫、さがみ農業協同組合が農業者に融資する農業制度資金の支払い利子の一部を助成する。				
対象	3. 団体	神奈川県信用農業協同組合連合会、日本政策金融公庫、さがみ農業協同組合			3 団体
根拠法令等	その他(要綱等) 農業経営基盤強化資金利子助成金交付要綱、藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	1. かながわ都市農業推進資金借入利子への助成を行った。 申請者 : さがみ農業協同組合 支出済額: 47,724円(利子額の1/4(認定農業者は1/2)以内) 2. 農業経営基盤強化資金借入利子への助成を行った。 申請者 : 日本政策金融公庫、神奈川県信用農業協同組合連合会 支出済額: 30,432円(約定利子から利子補助率を算出した額)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主要内容
	79 千円	負担金補助及び交付金	79 千円	農業振興資金等利子補助金、農業経営基盤強化資金利子補助金
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	79 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	79 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.20人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.20人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	支出	行政費用 A	2,068	2,078	1,789	1,867
		(1)現金を伴う支出 (千円)	2,090	2,076	1,790	1,867
		事業費(支出済額)	163	132	111	79
		償還金利子	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,944	1,679	1,788
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,828	1,571	1,704
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
		③退職金相当額	94	116	108	84
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-22	2	-1	0
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-22	2	-1	0
		③不納欠損額	0	0	0	0
		④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		4.82 429,317	4.80 433,060	4.11 435,121	4.25 438,968	
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	
	補助対象となった融資件数	28	24	31	18	
備考						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容		
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性 事務事業の公平性は高いか	高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性	事業縮小	
今後の方針	農業経営を取り巻く現状の悪化にともない、制度資金の利用で経営改善などを支援することにより、農業経営の安定化を図るため、助成は今後も必要とされる。一方で補助率の見直しなど検討可能な部分については、市政の方向性、近隣他市の状況も踏まえながら融資機関と協議し進めていく必要がある。	

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	産地競争力強化事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	03	細目	004	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	平成 19 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	産地競争力を高める先進的な取組として、地産地消に適した品目・品種・技術の導入にかかる費用の一部を助成する。				
対象	3. 団体	さがみ農協藤沢市花卉温室部、さがみ農協藤沢市ハウス部、さがみ農協藤沢市果樹部			3 団体
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遮光ネット導入事業 1団体(受益農家2戸) ・忌避剤導入事業 1団体(受益農家16戸) ・園芸用結束機導入事業 1団体(受益農家25戸) 				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	1,077 千円	費目	支出済額(千円)		令和3年度
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		常時勤務職員※	0.30人工
	1,077 千円	分担金・負担金		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
		使用料・手数料		合計	0.30人工
		国庫支出金		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
		県支出金		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
		その他()			
		一般財源	1,077 千円		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	2,784	4,832	4,190	4,061									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	3,430	4,830	4,191	3,759									
		事業費(支出済額)	1,503	2,886	2,512	1,077									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,944	1,679	2,682									
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,828	1,571	2,556									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	94	116	108	125									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-646	2	-1	302									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	-646	2	-1	302									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
④その他()	0	0	0	0											
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		6.48	429,317	11.16	433,060	9.63	435,121	9.25	438,968						
成果実績	指標名	助成対象戸数	目標	18	単位	戸	35	単位	戸	10	単位	戸	43	単位	戸
			実績	18	単位	戸	35	単位	戸	10	単位	戸	43	単位	戸
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	遊休農地対策事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	03	細目	005	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	令和 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	遊休・荒廃農地を解消、保全する取組に対し支援する。				
対象	1. 個人	農業者(法人含む)			3 経営者
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	遊休農地解消消費助成事業 農業者が遊休・荒廃農地の所有権又は利用するための権利を取得し、開墾する際に要する経費に対し、補助金の交付を行った。 補助対象者3経営者(うち1経営者2回申請) 対象面積7,612㎡(12筆)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		300 千円	主な内容			
		費 目	支出済額 (千円)					
		負担金補助及び交付金	300 千円		遊休農地解消消費助成事業			
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		300 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)			
		費 目	支出済額 (千円)					
		分担金・負担金					令和3年度	
		使用料・手数料					常時勤務職員※	0.40人工
		国庫支出金					短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
		県支出金					合計	0.40人工
	その他 ()			※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
	一般財源		300 千円	会計年度任用職員(配置数)	0.00人			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
		行政費用 A	0	5,665	3,734	3,876				
		(1)現金を伴う支出 (千円)	0	4,457	3,735	3,875				
		事業費(支出済額)		570	377	300				
		償還金利息		0	0	0				
		人件費合計(①+②+③)	0	3,887	3,358	3,575				
		①常時勤務職員等の給与等		3,656	3,142	3,408				
		②会計年度任用職員の報酬等		0	0	0				
		③退職金相当額		231	216	167				
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	1,208	-1	0				
		①減価償却費		0	0	0				
		②退職給与引当金繰入額		1,208	-1	0				
		③不納欠損額		0	0	0				
		④その他 ()		0	0	0				
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	0.00	429,317	13.08	433,060	8.58	435,121	8.83	438,968
成果実績	指標名	目標	単位	6,000	単位	6,000	単位	6,000	単位	6,000
		実績	単位	0	単位	6,479	単位	7,612	単位	7,612
備考										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	野菜生産出荷対策事業費										担当	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	平成 14 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	さがみ農業協同組合共販野菜の一部生産農家及び湘南野菜出荷推進協議会会員を対象に、出荷資材であるダンボール箱やバック等の購入に対して費用の一部を助成する。具体的には「市内野菜」と認識できる出荷用資材(ダンボール、バック、袋、結束テープ、スタンドバック等)で、農協を通して共販出荷するもの及び湘南野菜出荷推進協議会会員が市内市場へ出荷するものについて補助を行う。				
対象	3. 団体	農協各出荷組合、湘南野菜出荷推進協議会			39 団体
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	1. さがみ農業協同組合共販野菜の一部生産農家が農協を通して共販出荷するものについて補助を行った。 ・農協共販出荷用資材費補助金 11,581,000円(ダンボール購入費の100分の25以内) ・農協共販出荷用資材費補助金 1,105,000円(その他資材購入費の100分の25以内) 2. 湘南野菜出荷推進協議会会員が市内市場へ出荷するものについて補助を行った。 ・市場出荷用資材費補助金 125,000円(ダンボール購入費の100分の25以内) ・市場出荷用資材費補助金 653,000円(その他資材購入費の100分の25以内)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3,464 千円	主な内容								
	13,464 千円	費目	支出済額 (千円)			ダンボール箱及び出荷用資材の購入に対する補助							
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		13,464 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)								
	13,464 千円	費目	支出済額 (千円)										
				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.20人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.20人工</td> </tr> </table> ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く			令和3年度	常時勤務職員※	0.20人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.20人工
	令和3年度												
常時勤務職員※	0.20人工												
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工												
合計	0.20人工												
				<table border="1"> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		会計年度任用職員(配置数)	0.00人						
会計年度任用職員(配置数)	0.00人												

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
コスト	支出	行政費用 A	14,212	15,892	13,789	15,252
		(1)現金を伴う支出 (千円)	14,234	15,890	13,790	15,252
		事業費(支出済額)	12,307	13,946	12,111	13,464
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,944	1,679	1,788
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,828	1,571	1,704
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
		③退職金相当額	94	116	108	84
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-22	2	-1	0
		①減価償却費	0	0	0	0
②退職給与引当金繰入額	-22	2	-1	0		
③不納欠損額	0	0	0	0		
④その他()	0	0	0	0		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		33.10 429,317	36.70 433,060	31.69 435,121	34.74 438,968	
成果実績	指標名	ダンボール及び出荷用資材数量	2,321,290	2,027,960	1,986,208	1,761,545
		目標	単位 個	単位 個	単位 個	単位 個
備考	実績	ダンボール及び出荷用資材数量	1,465,593	1,213,500	1,526,208	1,593,389
		目標	単位 個	単位 個	単位 個	単位 個

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	湘南野菜生産育成事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	04	細目	001	説明	02	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	平成 24 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	湘南藤沢地方卸売市場への出荷を推進するため、レンタルコンテナ利用による市場出荷に対する助成事業、市場出荷する生産者で組織される団体の運営費助成事業を行う。				
対象	3. 団体	湘南野菜出荷推進協議会	1	団体	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	・湘南野菜レンタルコンテナ促進事業補助 1,960,000円 ・出荷団体育成事業補助(市場出荷する生産者で組織される団体運営活動補助) 1,794,000円				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3,754 千円	主な内容			
		費目	支出済額 (千円)					
		負担金補助及び交付金	3,754 千円		湘南野菜レンタルコンテナ促進事業、出荷団体育成事業			
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3,754 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)			
		費目	支出済額 (千円)					
		分担金・負担金					令和3年度	
		使用料・手数料					常時勤務職員※	0.20人工
		国庫支出金					短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
		県支出金					合計	0.20人工
	その他 ()			※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
	一般財源		3,754 千円	会計年度任用職員(配置数)	0.00人			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
		行政費用 A	5,739	5,700	5,872	5,542
		(1)現金を伴う支出 (千円)	5,761	5,698	5,873	5,542
		事業費(支出済額)	3,834	3,754	4,194	3,754
		償還金利息	0	0	0	0
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,944	1,679	1,788
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,828	1,571	1,704
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
		③退職金相当額	94	116	108	84
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-22	2	-1	0
		①減価償却費	0	0	0	0
		②退職給与引当金繰入額	-22	2	-1	0
		③不納欠損額	0	0	0	0
④その他 ()	0	0	0	0		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		13.37 429,317	13.16 433,060	13.50 435,121	12.62 438,968	
成果実績	指標名	目標	100,000	90,000	90,000	90,000
		実績	78,848	72,443	86,538	99,936
備考						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	野菜価格安定事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	平成 9 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	野菜の価格が著しく低落したときに、生産者の損失を補填するため、神奈川県野菜価格安定事業の対象となっている品目に対し、その造成資金の生産者負担分の一部を助成する。				
対象	2. 世帯	神奈川県野菜価格安定事業対象野菜の生産農家			78 戸
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	・資金造成対象野菜5品目(春レタス、春キュウリ、秋冬キュウリ、秋キャベツ、ほうれんそう)に対し、造成資金の生産者負担分の一部を助成した。 ・造成資金負担割合 県3/6、生産者2/6、市1/6以内				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		2,712 千円	神奈川県野菜価格安定事業対象野菜5品目			
		費目	支出済額 (千円)			主要内容		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		2,712 千円	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)			
		費目	支出済額 (千円)					
		分担金・負担金					令和3年度	
		使用料・手数料					常時勤務職員※	0.20人工
		国庫支出金					短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
		県支出金					合計	0.20人工
	その他 ()			※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
	一般財源		2,712 千円	会計年度任用職員(配置数)	0.00人			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	4,580	4,603	4,347	4,500		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	4,602	4,601	4,348	4,500		
		事業費(支出済額)	2,675	2,657	2,669	2,712		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,944	1,679	1,788		
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,828	1,571	1,704		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	94	116	108	84		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-22	2	-1	0		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-22	2	-1	0		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他 ()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	10.67	429,317	10.63	433,060	9.99	435,121
成果実績	指標名	目標	-	-	-	-	-	
		実績	-	-	-	-	-	
備考		当該事業は価格低落の損失を補填するものであるため、指標の設定が困難である。						

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	学校給食用農水産物生産出荷対策費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3431

1. 事業概要

事業開始年度	平成 20 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市内産の新米及び大豆等を学校給食へ出荷するにあたり、配達等を行う。				
対象	1. 個人	藤沢市立小中学校及び白浜養護学校児童数			34,120 人
根拠法令等					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内産新米の精米及び配達費用 853,380円 市内産大豆の集荷・仕分け・配達費用 638,771円 市内産きな粉の配達費用 31,013円 				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3	3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	1,524 千円	費目	支出済額 (千円)			主要内容
		役務費	1,524 千円			市内産新米、大豆等の配達等
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度		
	1,524 千円	費目	支出済額 (千円)	常時勤務職員※	0.50人工	
		分担金・負担金		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	
		使用料・手数料		合計	0.50人工	
		国庫支出金		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
		県支出金		会計年度任用職員(配置数)	0.00人	
その他 ()						
一般財源	1,524 千円					

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	5,174	5,249	4,665	6,295					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	5,217	5,246	4,666	5,993					
		事業費(支出済額)	1,362	1,359	1,308	1,524					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	3,855	3,887	3,358	4,469					
		①常時勤務職員等の給与等	3,667	3,656	3,142	4,260					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	188	231	216	209					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-43	3	-1	302					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-43	3	-1	302					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他 ()	0	0	0	0							
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		12.05 429,317	12.12 433,060	10.72 435,121	14.34 438,968						
成果実績	指標名	学校給食へ提供した市内産新米の数量	目標	8,870	単位 kg	8,740	単位 kg	9,560	単位 kg	9,460	単位 kg
			実績	8,870	単位 kg	8,740	単位 kg	9,560	単位 kg	9,460	単位 kg
備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	畜産運営費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	05	細目	001	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3433

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	効果的な畜産振興策について調査・審議をするため、畜産振興審議会を開催するとともに、畜産共進会等の開催又は出品を推進し、家畜改良の促進と営農意欲の向上を図る。						
対象	2. 世帯	市内畜産農家				19戸	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市非常勤職員の報酬等に関する規則						
事業実施内容	藤沢市畜産振興審議会の開催						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 86 千円	事業費節別内訳															
		費目	支出済額 (千円)	主要内容													
		報酬	47 千円	藤沢市畜産振興審議会委員報酬													
		報償費	36 千円	藤沢市畜産共進会報償費等													
		旅費	3 千円	担当者会議旅費													
財源内訳	R3年度 支出済額 86 千円	事業費節別財源内訳			<p>3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和3年度</td> </tr> <tr> <td>常時勤務職員※</td> <td>0.30人工</td> </tr> <tr> <td>短時間勤務職員(再任用・任期)</td> <td>0.00人工</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.30人工</td> </tr> <tr> <td colspan="2">※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く</td> </tr> <tr> <td>会計年度任用職員(配置数)</td> <td>0.00人</td> </tr> </table>		令和3年度	常時勤務職員※	0.30人工	短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工	合計	0.30人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		会計年度任用職員(配置数)	0.00人
			令和3年度														
		常時勤務職員※	0.30人工														
		短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工														
		合計	0.30人工														
		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く															
		会計年度任用職員(配置数)	0.00人														
費目	支出済額 (千円)																
分担金・負担金																	
使用料・手数料																	
国庫支出金																	
県支出金																	
その他 ()																	
一般財源	86 千円																

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
		行政費用 A	3,299	3,247	2,575	2,768						
		(1)現金を伴う支出 (千円)	3,331	3,245	2,576	2,768						
		事業費(支出済額)	440	330	57	86						
		償還金利息	0	0	0	0						
		人件費合計(①+②+③)	2,891	2,915	2,519	2,682						
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	2,742	2,357	2,556						
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0						
		③退職金相当額	141	173	162	125						
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-32	2	-1	0						
		①減価償却費	0	0	0	0						
		②退職給与引当金繰入額	-32	2	-1	0						
		③不納欠損額	0	0	0	0						
④その他 ()	0	0	0	0								
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	7.68	429,317	7.50	433,060	5.92	435,121	6.31	438,968				
成果実績	指標名	各畜産共進会への出品頭数	目標	40	単位	頭	40	単位	頭	40	単位	頭
			実績	42	単位	頭	35	単位	頭	0	単位	頭
備考												

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	畜産振興対策事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	05	細目	002	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3433

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 40 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	家畜の防疫体制、衛生環境、肥育豚の資質能力や乳牛の生育向上の事業に対する助成を行う。				
対象	2. 世帯	市内畜産農家	19戸		
根拠法令等	法律等	家畜伝染病予防法、家畜排せつ物の管理の適正化及び利用促進に関する法律、藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱			
事業実施内容	・家畜防疫対策事業(①家畜伝染病予防注射等推進事業 対象11戸 ②家畜衛生対策事業 対象12戸) ・家畜改良増殖事業(①乳牛資質改良事業 対象2戸 ②肉豚資質改良事業 対象6戸) ・後継乳牛生産支援事業 対象4戸				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)
	8,106 千円	費目	支出済額(千円)	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度
	8,106 千円	分担金・負担金		常時勤務職員※
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)
		国庫支出金		合計
		県支出金		0.30人工
		その他()		0.00人工
		一般財源	8,106 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く
				会計年度任用職員(配置数)
				0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	8,337	10,375	10,369	10,788					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	8,369	10,373	10,370	10,788					
		事業費(支出済額)	5,478	7,458	7,851	8,106					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	2,891	2,915	2,519	2,682					
		①常時勤務職員等の給与等	2,750	2,742	2,357	2,556					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	141	173	162	125					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-32	2	-1	0					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-32	2	-1	0					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他()	0	0	0	0							
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	19.42	429,317	23.96	433,060	23.83	435,121	24.58	438,968			
成果実績	指標名	各補助対象事業合計実績数	目標	15,000	単位	15,000	単位	36,600	単位	36,600	単位
			実績	18,100	単位	17,884	単位	42,207	単位	45,281	単位
備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
	事業の方向性	現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	畜産経営環境整備事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	05	細目	003	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3433

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	畜舎の衛生環境の向上、畜産業の活性化のための施設整備等に必要な経費に対して助成を行う。				
対象	2. 世帯	市内畜産農家	19戸		
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱、藤沢市畜産会畜産緊急支援事業に関する事務取扱要領				
事業実施内容	・畜産関連臭気調査(対象地点 遠藤1,277付近ほか2地点) ・藤沢市畜産会畜産緊急支援基金負担金(対象 さがみ農業協同組合藤沢市酪農部又は養豚部会員かつ藤沢市畜産会会員) ・畜産経営環境整備事業補助金(豚舎改修、牛舎送風機更新、豚舎餌箱設置)3件				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	12,618 千円	費目	支出済額(千円)		令和3年度
		役務費	429 千円		臭気調査手数料
		負担金補助及び交付金	12,189 千円	畜舎及び畜舎付帯設備等の整備に対する補助、畜産緊急支援基金負担金	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	12,618 千円	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		1.70人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
		県支出金		合計	
	その他()		1.70人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
	一般財源		12,618 千円	会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	54,627	52,806	27,282	27,815									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	54,810	52,791	27,289	27,813									
		事業費(支出済額)	38,428	36,269	13,014	12,618									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	16,382	16,522	14,275	15,195									
		①常時勤務職員等の給与等	15,584	15,540	13,355	14,485									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	798	982	920	710									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-183	15	-7	2									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	-183	15	-7	2									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
④その他()	0	0	0	0											
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	127.24	429,317	121.94	433,060	62.70	435,121	63.36	438,968							
成果実績	指標名	畜産農家戸数	目標	26	単位	戸	20	単位	戸	19	単位	戸	19	単位	戸
			実績	26	単位	戸	20	単位	戸	19	単位	戸	19	単位	戸
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	農業用水路浚渫費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	06	細目	001	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3434

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 53 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	家庭雑排水、ゴミ、土砂等の農業用水への流入、堆積による水質汚濁を解消し農業生産を維持するため、水利組合の実施する浚渫等の事業に対し、事業費の80%以内を補助する。				
対象	3. 団体	上高倉水利組合他12団体	13	団体	
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市補助金交付規則、藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	水利組合が実施する用水路浚渫事業に対し補助金を交付した。 交付団体:13団体 受益面積:約224ha 対象水路延長:約37km 対象事業費:8,097千円				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	6,473 千円	費目	支出済額(千円)		主な内容
		負担金補助及び交付金	6,473 千円		水路清掃及び浚渫
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	6,473 千円	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.20人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
		県支出金		合計	
	その他()		0.20人工	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
	一般財源	6,473 千円		会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	6,349	8,023	8,029	8,261					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	6,371	8,021	8,030	8,261					
		事業費(支出済額)	4,444	6,077	6,351	6,473					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	1,927	1,944	1,679	1,788					
		①常時勤務職員等の給与等	1,833	1,828	1,571	1,704					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	94	116	108	84					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-22	2	-1	0					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-22	2	-1	0					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他()	0	0	0	0					
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	14.79 429,317	18.53 433,060	18.45 435,121	18.82 438,968					
成果実績	指標名	受益農家戸数	目標	1,143	単位 戸	1,116	単位 戸	1,116	単位 戸	1,116	単位 戸
			実績	1,143	単位 戸	1,116	単位 戸	1,116	単位 戸	1,116	単位 戸
成果実績	備考										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	農業用水路等改修事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	06	細目	001	説明	02	課等の長	及川 聡	電話	3434

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 61 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	水利組合等が実施する老朽化の著しい取水堰等の補修及び用水路、排水路の改修に対して助成を行う。事業費の70%以内を補助。				
対象	3. 団体	上高倉水利組合他14団体			15 団体
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市補助金交付規則、藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	水利組合等が実施する用水路改修事業に対し補助金を交付した。 交付団体 : 8団体 受益面積 : 約188ha 対象事業費 : 15,120千円				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		主な内容	
	10,390 千円	費目	支出済額 (千円)		
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	10,390 千円	費目	支出済額 (千円)		
		分担金・負担金			令和3年度
		使用料・手数料			常時勤務職員※
		国庫支出金			短時間勤務職員(再任用・任期)
		県支出金			合計
	その他 ()		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
	一般財源	10,390 千円	会計年度任用職員(配置数)		
			0.00人		

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	10,408	12,205	13,608	14,860									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	10,462	12,201	13,609	14,859									
		事業費(支出済額)	5,643	7,341	9,410	10,390									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,199	4,469									
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	3,928	4,260									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0									
		③退職金相当額	235	289	271	209									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	-1	0									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	-54	4	-1	0									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他 ()	0	0	0	0									
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	24.24	429,317	28.18	433,060	31.27	435,121	33.85	438,968					
成果実績	指標名	受益農家戸数	目標	1,200	単位	戸	1,173	単位	戸	1,014	単位	戸	882	単位	戸
			実績	1,200	単位	戸	1,173	単位	戸	978	単位	戸	882	単位	戸
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
	事業の方向性	現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	農業基盤整備事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	06	細目	002	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3434

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 59 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	一般車両の通行によって損傷、通行困難となった農道や、用排水路の整備改修を行う。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	道路法、土地改良法、神奈川県市町村事業推進交付金交付要綱			
事業実施内容	1.西俣野地区 道路整備延長71.0m 地積測量図作成16筆 用地取得127.9㎡ 2.西俣野地区 水路改修延長87.0m				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 32,240 千円	事業費節別内訳		主な内容
		費目	支出済額 (千円)	
		役務費	829 千円	不動産鑑定評価
		委託料	1,945 千円	地積測量図作成
		工事請負費	28,600 千円	道路、水路整備
		公有財産購入費	652 千円	道路用地取得
		その他	214 千円	需用費、負担金補助及び交付金、補償補填及び賠償金

財源内訳	R3年度 支出済額 32,240 千円	事業費節別財源内訳	
		費目	支出済額 (千円)
		分担金・負担金	
		使用料・手数料	
		国庫支出金	
		県支出金	5,618 千円
		その他 (地方債)	15,500 千円
		一般財源	11,122 千円

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	令和3年度
常時勤務職員※	1.90人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.90人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
コスト	支出	行政費用 A	77,063	65,521	59,520	50,432					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	76,601	65,508	59,525	49,223					
		事業費(支出済額)	62,146	50,929	46,929	32,240					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	14,455	14,579	12,596	16,983					
		①常時勤務職員等の給与等	13,751	13,712	11,784	16,189					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0					
		③退職金相当額	704	867	812	794					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	462	13	-5	1,209					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	462	13	-5	1,209					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他 ()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		179.50	429,317	151.30	433,060	136.79	435,121	114.89	438,968		
成果実績	指標名	道路整備・水路改修延長	目標	512	単位	253	単位	149	単位	162	単位
			実績	561	単位	147	単位	152	単位	158	単位
数値で表せない効果		道路整備により農業用機械の搬入出や一般車両の通行の安全性が向上し、水路改修により農業用水の安定供給が可能となり農業生産の効率性向上につながった。									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	一部見直し
今後の方針	継続的、計画的に基盤整備を行うことで、農業生産活動を支援し、地域の良い環境の保全、農地の多面的機能の発揮を図るとともに、特定財源の確保に努め事業進捗を図るものとする。 また、水田経営の環境変化に対応するために、区画拡大等の耕作条件の改善を検討し、持続的な営農を図る取組を進める。

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	一般農地費										担当	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	06	細目	003	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3434

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 30 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	市街化調整区域内の農業用施設の維持管理や保全及び景観形成等の環境保全向上を図るとともに、土地改良事業に係わる関係機関との連絡調整を図る。				
対象	1. 個人	市民			438,968 人
根拠法令等	法律等	道路法、土地改良法、多面的機能の発揮に関する法律等			
事業実施内容	施設修繕 : 農業用施設修繕21件、西俣野排水機場修繕1件 水路清掃業務委託 : 市内一円(水利組合等の受益地) 定期点検・運転操作等業務委託 : 西俣野排水機場 負担金 : 3団体(神奈川県相模川左岸土地改良区、神奈川県土地改良事業団体連合会等) 補助金 : 2団体(西俣野、打戻)				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		36,385 千円	施設修繕・西俣野排水機場燃料費等 電信電話料・西俣野排水機場内浄化槽点検等 西俣野排水機場施設の操作・維持管理業務 土地改良関係団体負担金・多面的機能支払交付金 旅費・NHK放送受信料	
		費目	支出済額(千円)			
		需用費	17,597 千円			
		役務費	2,792 千円			
		委託料	9,763 千円			
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		36,385 千円	分担金・負担金 使用料・手数料 国庫支出金 県支出金 その他() 一般財源	
		費目	支出済額(千円)			
		負担金補助及び交付金	6,207 千円			
		その他	26 千円			
		一般財源	32,474 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.60人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.60人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度							
		行政費用 A	45,004	40,125	41,575	52,476							
		(1)現金を伴う支出 (千円)	44,261	39,231	40,697	50,686							
		事業費(支出済額)	31,734	26,597	29,781	36,385							
		償還金利息	0	0	0	0							
		人件費合計(①+②+③)	12,527	12,634	10,916	14,301							
		①常時勤務職員等の給与等	11,917	11,883	10,213	13,633							
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0							
		③退職金相当額	610	751	703	669							
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	743	894	878	1,790							
		①減価償却費	883	883	883	883							
		②退職給与引当金繰入額	-140	11	-5	907							
		③不納欠損額	0	0	0	0							
		④その他()	0	0	0	0							
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	104.83	429,317	92.65	433,060	95.55	435,121	119.54	438,968			
成果実績	指標名	調整区域内農地面積	目標	922	単位 ha	922	単位 ha	922	単位 ha	922	単位 ha		
			実績	922	単位 ha	922	単位 ha	922	単位 ha	922	単位 ha		
			数値で表せない効果		用水供給、排水の確保に支障となる箇所に対して修繕等に対応し農業生産の維持ができた。								

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	一般水産業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	細目	001	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3432

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 26 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	片瀬漁港内の清掃や施設修繕等による漁港施設の維持管理、漁業関係団体への負担金支出、漁場保全対策事業への助成等、水産振興業務を行う。				
対象	3. 団体	市内2漁協(江の島片瀬漁業協同組合、藤沢市漁業協同組合)組合員			87 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 補助金2団体(江の島片瀬漁業協同組合、藤沢市漁業協同組合) 片瀬漁港施設修繕等(荷捌き施設ドア等修繕、荷捌き施設ジャバラ扉修繕ほか) 片瀬漁港船揚場等清掃作業 漁港施設賠償責任保険 片瀬漁港(51,110㎡) 負担金5団体(神奈川県水産振興促進協会、神奈川県水難救済会、神奈川県漁業共同組合連合会ほか) 				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	11,612 千円	費目	支出済額(千円)		主な内容
		旅費	20 千円		担当者会議旅費
		需用費	3,985 千円		施設修繕費等
		役務費	4,826 千円	清掃作業等	
		負担金補助及び交付金	2,781 千円	漁場保全対策事業・関係団体負担金	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
	11,612 千円	費目	支出済額(千円)	常時勤務職員※	
		分担金・負担金		0.80人工	
		使用料・手数料	2,692 千円	短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金		0.00人工	
	県支出金			合計	
	その他()			0.80人工	
	一般財源		8,920 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
				会計年度任用職員(配置数)	
				0.00人	

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
		行政費用 A	17,438	19,732	17,289	18,764			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	17,524	19,725	17,292	18,763			
		事業費(支出済額)	9,815	11,950	10,574	11,612			
		償還金利息	0	0	0	0			
		人件費合計(①+②+③)	7,709	7,775	6,718	7,151			
		①常時勤務職員等の給与等	7,334	7,313	6,285	6,816			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	375	462	433	334			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-86	7	-3	1			
		①減価償却費	0	0	0	0			
		②退職給与引当金繰入額	-86	7	-3	1			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		40.62	429,317	45.56	433,060	39.73	435,121	42.74	438,968
成果実績	指標名	目標	単位	実績	単位				
	上記指標名の設定ができない理由	一般水産業費は経常的経費であり、指標とする施設修繕費については、漁港施設を適切に維持管理する費用で目標数値を設定できない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	漁港機能保全対策事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3434

1. 事業概要

事業開始年度	平成 21 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	漁業活動の拠点施設である片瀬漁港について、漁港管理者として施設の適切な維持管理及び機能保全計画の実施に取り組む。						
対象	1. 個人	市内2漁協(江の島片瀬漁業協同組合、藤沢市漁業協同組合)組合員			87 人		
根拠法令等	法律等	漁港漁場整備法					
事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 片瀬漁港航路周辺深淺測量委託 片瀬漁港航路底質調査業務委託 片瀬漁港航路浚渫工事 						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額 (千円)		主な内容
	149,018 千円	旅費	44 千円		担当者会議旅費
		需用費	75 千円		消耗品費、印刷製本費
		委託料	6,989 千円	片瀬漁港航路周辺深淺測量委託、片瀬漁港航路底質調査業務委託	
		工事請負費	141,910 千円	片瀬漁港航路浚渫工事	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		令和3年度	
		費目	支出済額 (千円)	常時勤務職員※	
	149,018 千円	分担金・負担金		1.10人工	
		使用料・手数料		短時間勤務職員(再任用・任期)	
		国庫支出金	70,336 千円	0.00人工	
		県支出金		合計	
	その他 ()		1.10人工		
	一般財源	78,682 千円	※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く		
				会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
		行政費用 A	128,141	20,325	90,072	163,804			
		(1)現金を伴う支出 (千円)	123,340	14,489	86,062	158,883			
		事業費(支出済額)	112,740	883	76,825	149,018			
		償還金利息	0	0	0	33			
		人件費合計(①+②+③)	10,600	13,606	9,237	9,832			
		①常時勤務職員等の給与等	10,084	12,797	8,642	9,373			
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0			
		③退職金相当額	516	809	595	460			
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,801	5,836	4,010	4,921			
		①減価償却費	4,920	4,920	4,920	4,920			
		②退職給与引当金繰入額	-119	916	-910	1			
		③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		298.48	429,317	46.93	433,060	207.00	435,121	373.16	438,968
成果実績	指標名	漁港数	目標	1	単位	港	1	単位	港
			実績	1	単位	港	1	単位	港
備考									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	つくり育てる漁業推進事業費										担当課	部課名	経済部農業水産課			
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	02	細目	001	説明	01	課等の長	及川 聡	電話	3432

1. 事業概要

事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	つくり育てる漁業を推進するとともに、持続可能な漁業に向けた取組を行う。また、市民への市内水産業や自然への理解を深めるPRイベントを実施する。						
対象	1. 個人	市民				438,968	人
根拠法令等	法律等	水産基本法、藤沢市農水産業振興対策事業補助金交付要綱					
事業実施内容	放流事業 マダイ4,120尾、ヒラメ5,000尾、アワビ4,870個、サザエ25,010個、ハマグリ390kg						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	2,279 千円	費目	支出済額(千円)		令和3年度
財源内訳	R3年度 支出済額	負担金補助及び交付金	2,279 千円	魚介類放流事業、水産多面的機能発揮対策事業	
	2,279 千円	分担金・負担金		常時勤務職員※	
		使用料・手数料			0.50人工
		国庫支出金			短時間勤務職員(再任用・任期)
		県支出金			0.00人工
		その他()			合計
	一般財源		2,279 千円	0.50人工	

常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)	0.00人
---------------	-------

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	10,294	13,187	6,928	6,749		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	10,972	12,578	7,534	6,748		
		事業費(支出済額)	6,153	5,775	3,335	2,279		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	4,819	6,803	4,199	4,469		
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	6,399	3,928	4,260		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0		
		③退職金相当額	235	404	271	209		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-678	609	-606	0		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-678	609	-606	0		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他()	0	0	0	0		
		市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	23.98	429,317	30.45	433,060	15.92	435,121
成果実績	指標名	目標	90	90	90	90		
			単位 人	単位 人	単位 人	単位 人		
備考	実績	実績	86	86	82	87		
			単位 人	単位 人	単位 人	単位 人		

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		事業拡大	
今後の方針	海洋環境への変化に対応し、持続可能な水産業に向けた取組を強化する。		

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------